

未承認新規医薬品等評価部門にて承認された医療提供に関する情報公開

本院の未承認新規医薬品等評価部門にて、下記の医療提供が承認されました。

対象となる方から個別に同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより、医療提供を行います。なお、本件について同意できない場合においても、あなた自身の診療において不利益を被ることはありません。

内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	局所麻酔薬中毒に対する 20% 脂肪乳剤の投与
実施責任者	名古屋市立大学病院 病院長 松川 則之
承認日	2025 年 9 月 30 日
対象期間	承認日から永続的に ただし、内容の見直しの必要性が生じた際はこの限りではない
対象者	局所麻酔薬中毒が疑われる患者
目的・意義	局所麻酔薬を用いるあらゆる場面で局所麻酔薬中毒が起こる可能性があります。けいれんや頭痛・嘔吐などの中枢神経症状以外に、稀に重篤な心血管系症状をきたし、循環が抑制され心停止を生じることがあります。局所麻酔薬中毒を疑う場合は、速やかに局所麻酔薬の投与を中止し、血圧・心電図・パルスオキシメータの装着、静脈ラインおよび気道の確保、その他必要な対症療法を行います。重度の低血圧や不整脈を伴う重症例には、局所麻酔薬の組織内濃度の低下、排泄に脂肪乳剤の投与が有効とされています。保険適応外ですが、簡便な方法 である上に救命成功症例が多く報告されています。
使用条件 実施条件	脂肪乳剤による局所麻酔薬の取り込みを目的として、可能な限り早期に 20% 脂肪乳剤の投与を行います。日本麻酔科学会 局所麻酔薬中毒への対応プラクティカルガイドに従い、ボラス投与を開始し、循環が回復しない場合は継続投与を行います。循環が回復安定後も 10 分間は投与を継続し、最大投与量の 目安は 12 mL/kg とします。

想定される不利益 および対策	脂肪乳剤を局所麻酔薬中毒の治療目的で用いた場合、ほとんどの症例で最大投与量以下の使用で副作用がなく、効果が認められています。投与後に、血清アミラーゼ値の上昇、脂質異常症、気管支攣縮、肺障害、膵炎の報告があります。呼吸状態の確認、胸部レントゲン検査、血液検査を行い、副作用が生じていないか確認します。脂肪乳剤の投与開始後は、投与前に比べて局所麻酔薬の血中濃度が一時的に上昇する場合があります、慎重に経過観察を行います。重篤な血液凝固障害、重篤な肝障害がある場合など脂肪乳剤の禁忌症例においても救命のため投与はやむを得ない場合があります。
本項の実施を 拒否される場合	本項の実施内容を拒否される場合は、「医療拒否（オプトアウト）通知書」を記載先までご提出ください。なお、本件について同意できない場合においても、あなた自身の診療において不利益を被ることはありません。
お問い合わせ先	名古屋市立大学病院 未承認新規医薬品等評価部門（医療の質管理課内） 〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地 電話 052-851-5511（代表）

令和7年9月5日作成